



# 校長室だより

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和6年11月1日

第24号

早いものでもう11月となりました。このごろはようやく秋らしい天候となり、朝はジャンパーを着込んで登校する子もちらほら見られます。衣服の調節は体調管理の基本ですね。2学期後半も元気に過ごしていきましょう。

## 勝手な誤解、決めつけはいけません…

児童玄関前に出島地区の島さんが生けてくださった季節の植物がいつも楽しみです。現在はセイタカアワダチソウとホトトギスがきれいに合わさって飾られています。セイタカアワダチソウといえば、ここ十年ほどで急激に繁殖してきた外来種です。黄色い細かい花がきれいですが、強い風が吹くといかにも花粉が飛びそうな感じがして、ちょっと厄介な印象をもっている方も多いと思います。



しかし今回、島さんはちょうどそれに関連する新聞記事をいっしょに添えてくださっていました。セイタカアワダチソウを花粉症の犯人と決めつけるのは実は人間の勝手な誤解なのだそうです。えっ？と思ひ私はさらに調べてみました。それによると、セイタカアワダチソウは虫媒花で花粉は飛ばない。一方、黄色い花がよく似ている「ブタクサ」は風媒花で、花粉症の原因となることがあるとのこと。つまり、セイタカアワダチソウとブタクサを混同している人が多いのではないかということです。ちなみにブタクサは葉がヨモギのようにギザギザしているのが見分けやすい特徴だそうですよ、ご注意ください。

なるほど。本当のことをよく知らないまま誤解して決めつけるのはよくないですね…。今回のセイタカアワダチソウのことに限らず、世の中で報じられるさまざまな出来事 etc…。何十年もかかって再審が行われ、ようやく無罪が確定したえん罪事件もありました。また、SNSやネットニュースでは、何が真実か嘘か分からない情報や噂話があふれています。安易に鵜呑みにはしないようにしたいですね。

そして、我々教師にとっては、なんとと言っても目の前の子供に関わる日々のあれこれ…。断片的な情報や思い込みで子供のことを決めつけないようにしたいものです。「きめつけの刃（やいば）」厳禁です！

今回、島さんからのちょっとした新聞記事から、大事なことを考えるヒントをいただきました。

## 新聞、読んでいますか？

### ★多様な文章表現に慣れ親しみましょう → 国語力アップにつながります

さて、先日の学校だよりでは「全国学力・学習状況調査」の結果と考察について特集しました。本校の課題の中に「ほとんどの児童が新聞を、ほとんど、または全く読まない」と答えているというのがありました。そのおたよりにも書いたのですが、新聞を読むことにはさまざまな効用が期待できます。毎日新聞に目を通す習慣を身に付け、多様な文章表現に慣れ親しむようにしたいものです。

とはいえ、さまざまな事情からご家庭で新聞を取っておられないお宅もあるかと思いますが。本校では販売店さんのご厚意により、3～6年生の各教室用に毎日「北日本新聞」が1部ずつ配布されています。テレビ欄や4コマ漫画から始まり、自分たちの地域のニュース、スポーツ、文化等々、好きな分野の記事だけでも目を通してほしいと願っています。家庭でも学校でも、まずは新聞を広げることができる時間と場所を確保し、身近な大人から「楽しそうに新聞を読む」姿を見せていくのも大事だろうと思います。

### ★世の中のニュースを知り、語り合う時間をとみましょう → 社会的な判断力が育ちます

もう一つ、新聞には時事に強くなるというよさもあります。ネットニュースだけでは得られる情報にどうしても偏りが出てきます。より客観的に広い視野で、世の中のさまざまなニュースをまんべんなく知らせてくれるという点で、新聞の右に出るものはないように思います。

我々大人の役割は、そうした広く世の中の出来事を子供に知らせ、それに対してどう考えるかということをお子に語ったり子供と話し合ったりすることではないかと考えます。同じニュースでもさまざまな受け取り方があるということを知るだけでも、よい学習になります。社会のことを知り、いろいろな周りの人の意見を参考に少しずつ自分なりの考えや生き方を決めていけるよう、子供を育てていきましょう。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ( )



## 外国語科の公開

30日(水)に5年生の外国語科の授業を公開したところ、県教委、市の教育センター、そして桜井高校の英語の先生等、5名の方が来校されました。授業の内容はHPにも取り上げました。ぜひご一読ください。

参観された方からは「学級の雰囲気がとても親和的で、どの子も安心して恥ずかしがずに英語表現にチャレンジできていた」「ジェスチャーといっしょに英語を話すので、より理解が進んでいくように感じられた」「小学5年生でも、もうこんなに英語が話せると知って驚いた」といった感想をいただきました。

来週6日(水)には1年生の英会話の授業を同様に公開します。保護者や地域の方の参観も大歓迎です。希望される方はあらかじめご連絡ください。

## シリーズ「教室におじゃまします」10/29(火)4年国語科の巻

いつものように漢字練習を少し(この日は「折」と「続」でした)してから本題です。このところ『ごんぎつね』の読み取りの確認を、プリントの問題に答えながら取り組んでいるようです。作品の内容についてはすでに一通り終わっていますが、テスト問題のような「問い」に答えるとなると、ちょっとしたコツやポイントを押さえてはいけません。

**あんないたずらとはどんなことですか。**

「『どんなことですか』と書いてあるから…?」と渡邊先生が聞くと、「～こと、で答える!」と大きな声で反応する子がいました。そうですね。本文の書きぶりを少し直して、答えはうなぎを取ってしまったこととなります。「もし、ここで『どうしてですか』という質問だったら?」と先生が念のため聞き返し、「そのときは『うなぎをとってしまったから』になる」という確認ができました。子供の中には手がかりとなる部分や気をつけたい言葉にマーカーペンを使って線を引ながら学習している子もいました。工夫して取り組んでいて素敵です。

続いて、**どんな気持ちですか**には「～気持ち」で答えること、**～書き抜きなさい**の場合は本文を一字一句変えずにそのまま書き写すこと、等々を押さえながら、名作『ごんぎつね』の内容を復習していきました。子供たちは先生の話をよく聞き、「そうか!」「なるほど」とつぶやきながら学習に取り組んでいました。小さな間違いもすぐに直して素直だなと感じました。これは力がつきそうです。



<おまけのひとりごと>我が家では新聞を2紙取っています。読売は以前から、そして15年ほど前からは地元の話題が豊富な北日本も取り始めました。読売では家庭欄の「人生案内」を毎朝チェックします。自分ならそれぞれの悩みにどのように回答するだろうかと考えながら読んでいます。北日本では毎月短歌を投歌して月末の発表を待ちます。村椿小学校には北日本と朝日が毎朝届きます。朝日は全体的に読み応えがある印象です。月々の購読料も値上がりし、皆さんのご家庭それぞれに考えや事情があるでしょうが、できれば1紙だけでも取って新聞ライフを楽しんでほしいというのが私の本音です。古新聞の便利な使い道もいろいろありますし…。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ( )